

ベヨネース列岩の火山活動解説資料（令和6年5月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では2023年2月に変色水が認められていることから、引き続き、海底噴火が発生する可能性があります。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

令和5年1月26日に噴火警報（周辺海域）及び火山現象に関する海上警報を発表しました。その後、警戒事項に変更はありません。

○ 活動概況

今期間、気象衛星ひまわりでは噴火は認められておりません。6日に海上保安庁が実施した上空からの観測によると、ベヨネース列岩及び明神礁付近（図3）で変色水域、気泡、浮遊物等の特異事象は認められませんでした。



図1 ベヨネース列岩 6日の状況

- ・6日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、ベヨネース列岩及び明神礁付近で、変色水域、気泡、浮遊物等の特異事象は認められませんでした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は海上保安庁及び海上自衛隊のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。



図2 伊豆・小笠原諸島の活火山分布、及びベヨネース列岩の位置図
ベヨネース列岩は、青ヶ島の南南東約65kmに位置します。

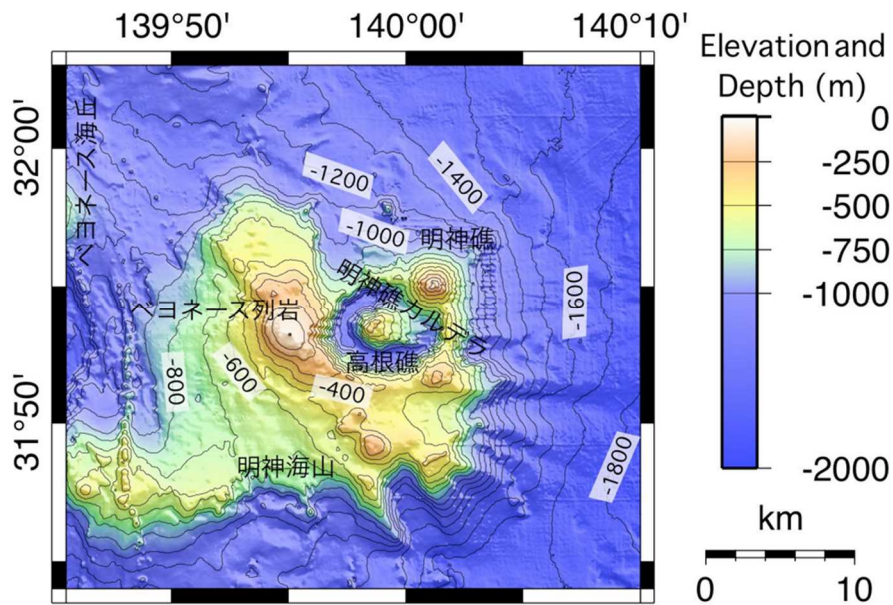


図3 ベヨネース列岩付近の海底地形図

この地域の活火山名は、ベヨネース列岩、明神礁、高根礁などを含む火山地形を総称して「ベヨネース列岩」と呼んでいます。

明神礁の最浅部は水深50m、北緯31度55.1分、東経140度01.3分です。

（日本周辺海域火山通覧（第4版）（海上保安庁，2012）に加筆）

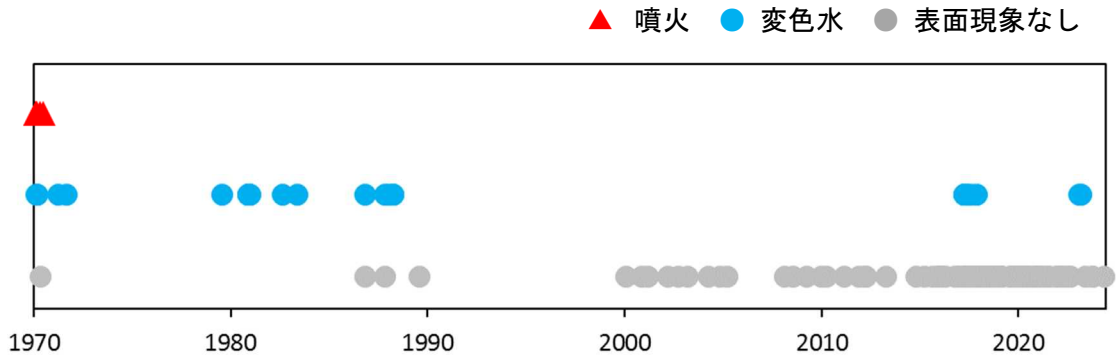


図4 ベヨネース列岩 1970年以降の活動状況

シンボルがあるタイミングで観測が行われています。▲、●はそれぞれ噴火及び変色水が認められた観測を示します。●は変色水等が認められなかった観測を示します。

海上保安庁、海上自衛隊及び漁船等からの情報による。